

平成 23 年 12 月 16 日

「震災お助け専門家相談隊」「事業再開お悩み相談ネット」による  
無料相談会開催報告書提出の件

「震災お助け専門家相談隊」  
代表 磯脇 賢二

1. はじめに

東日本震災とその復興という大変な状況の中で、被災された皆様からの問い合わせや悩みにワンストップで対応するため、法律や生活相談の話に限らず、不動産・登記・税金・年金・雇用問題・失業問題・保険・事業資金調達・二重ローン問題など様々な問題を抱える被災者の方々のあらゆる相談に応じ、皆さんのストレスを少しでも和らげたい地域の皆様に寄り添って活動をしていくために、「震災お助け専門家相談隊」は、宮城県を中心に活動をしている土業集団「事業再開お悩み相談ネット」と共同で、市民を対象とした無料相談会を開催しました。

2. 「震災お助け専門家相談隊」「事業再開お悩み相談ネット」による無料相談会について

主催 「震災お助け専門家相談隊」「事業再開お悩み相談ネット」  
後援 石巻市、石巻商工会議所、社団法人石巻観光協会、社会福祉法人石巻市社会福祉協議会、宮城県商工会連合会、宮城県司法書士会、河北新報社、三陸河北新報社、石巻日日新聞、ラジオ石巻、エフエム仙台、石巻専修大学、千葉商科大学、TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、東日本放送、  
協力 富士ゼロックス株式会社、特定非営利法人ジャパン・プラットフォーム、株式会社パソナ、特定非営利法人ピースパートナー、一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター、NGO MIRAI～魅来  
日時 2011年12月10日10:00～11日15:00まで、  
場所 石巻市内仮設住宅12か所

3. 来場者および当日のスケジュール

当日は、参加者メンバーを5～6名を1チームとして3つの班に分け、市内の仮設住宅を巡回しながら相談業務を行いました。2日間および事前相談をあわせて62件の相談でした。これとは別に事前相談をした上で当日相談会に参加された方が5名おりました。詳細は、別紙のとおりでございます。

| 日時等                      |   | 場所          |
|--------------------------|---|-------------|
| 土曜日午前<br>AM10:00~PM1:00  | ① | 仮設開成第4団地    |
|                          | ② | 仮設万石浦団地     |
| 土曜日午前<br>AM10:00~PM12:30 | ③ | にっこりサンパーク団地 |
| 土曜日午後<br>PM2:00~PM5:00   | ① | 仮設開成第10団地   |
|                          | ② | 仮設渡波第2団地    |
| 土曜日午前<br>PM2:00~PM4:30   | ③ | 仮設大森第4団地    |
| 日曜日午前<br>AM10:00~PM12:00 | ① | 仮設南境第7団地    |
|                          | ② | 仮設大橋団地      |
|                          | ③ | 仮設追波川河川団地   |
| 日曜日午後<br>PM1:00~PM3:00   | ① | 仮設南境第4団地    |
|                          | ② | 仮設水押球場団地    |
|                          | ③ | 仮設追波川多目的団地  |
| 事前相談                     |   |             |

#### 4. 相談内容

相談内容は、震災特有のものとな一般的なものがありました。具体的に申し上げます、多重債務、離婚調停、二重ローン問題、建物の滅失登記した後の不動産税務（固定資産税）の取り扱い・相続における保険の取扱・所得税の確定申告等の税金関係（雑損控除）、遺族年金の受給・地震保険金を受領後の税務上の取扱、仮設住宅の生活環境、事業再生・資金調達、建物補修等などがありました。相談内容を分析致しますと、震災特有のものとな一般的なもの内容が引き続きあります。今回の相談で特筆すべきは、震災前の場所に引き続き住むにはどうしたらいいのか、事業を再開するにはどのようにしたらいいのかという質問が多くなりました。相談をされ方は、その場の対応で目的を達成したと感じられたようです。

#### 5. プラン及び準備

東日本大震災で被災された皆様からの問い合わせや悩みにワンストップで対応するため、法律や生活相談の話に限らず、不動産・登記・税金・年金・雇用問題・失業問題・保険・被災住宅の安全確保や修理方法・事業資金調達・事業再生・二重ローン問題など様々な問題を抱えております。

また、Pride of JAPAN における相談会開催時より、大学の外に出てもらえたらという要請を受けておりました。そこで、宮城県司法書士会をはじめ多くの企業・NPO

の協力を得て、今回は仮設住宅に入って被災された方の悩みを直接聞くことで被災者の方々のあらゆる相談に応じる体制を作りました。

相談会開催に際しては、上記後援依頼先に対して名義後援を依頼するとともに、メディア媒体の活用を行いました。石巻市市報、石巻日日新聞、三陸河北新報、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞に記事の掲載依頼を行うとともに、ラジオでも、東北放送およびラジオ石巻にて総合相談会開催の旨をラジオで PR しました。

10月の相談会では、事前告知に問題があったことを受け、メディア媒体の利用だけでなく、民生委員・児童委員・消防団の団長・地域の自治会長など地域のオピニオンリーダーといわれる人たちへの告知や理解に一層重点を置きました。そこで、今回は、2,500枚のチラシを製作し、総合相談会開催の仮設住宅に直接チラシを配布して総合相談会開催を PR に務めました。当日も 500枚程の仮設住宅内で配布することで PR をしました。

## 6. 総合相談会を開催して良かった点と反省点

### 良かった点

- ・ 相談内容は、震災特有のものと、一般的なものがありました。やはり、一家全員死亡したために、相続という問題が生じています。相談をされ方は、その場の対応で目的を達成したと感じられたようです。
- ・ 相談にこられた方は、「話を聞いて頂き頂いて肩の荷が下りた」「それぞれの分野の人がいてよかった。」「話を聞いて頂いて安心した。希望が持てました。同様」他 1 件。「丁寧に説明をしていただき安心しました。」同様他 5 件。「役に立った」「とてもわかりやすく教えて頂き来てよかった。」同様他 3 件。「自分一人では法律の事は調べようがなく相談出来てよかった。」とかおおむね好評でした。
- ・ また今後もこのような機会があれば、ご相談したいですか？という問いに大部分の人が、又相談したいとおっしゃっておりました。我々と致しましては、この声を励みにして、今後も活動していきたいと思えます。
- ・ 今回は、大学内等施設の中で大規模にやるのではなく、1 チーム当たり 5~6 人程の小集団に分かれ、仮設住宅の中に入りきめ細かくやったことにより、相談者も前回の 2 倍以上に増えました。
- ・ 今回は、宮城県内の士業グループや士業・企業・NPO・大学の協力を得た事により、相談者も前回の 2 倍以上に増えました。今後も提携が円滑に進むように細心の注意を払い活動をしていきます。

### 反省点

- ・ 今回、仮設住宅で相談会を実施しました。地域バランスを考慮して旧北上町・旧河北町でも開催しましたが、PR 不足もあり参加者がまばらでした。旧町での PR が課題となります。

- ・ 一部地域では、総合相談会開催の事前告知に問題があったと考察します。民生委員・児童委員・消防団の団長・地域の自治会長など地域のオピニオンリーダーといわれる人たちへの告知や理解が不十分だったと考察されます。
- ・ 今後は、東北復興を志す団体・NPO・企業との提携しながら相談会を実施する機会が増えてきます。提携を円滑にするための話し合いを十分にしていきます。

## 7. 次回に向けての改善点

- ・ 今後も相続・保険の事・2重ローン問題など生活に身近な問題を中心に、少しずつではありますが、事業復興再生の問題が出てくると思います。継続的に専門家が、被災された人の悩み等話を聞く機会を継続的に開催すべきだと思います。
- ・ 総合相談会開催の事前告知に今後も継続して重点的に力をいれていきます。メディア媒体の利用ばかりを利用するのではなく、石巻市と協力して民生委員・児童委員・消防団の団長・地域の自治会長など地域のオピニオンリーダーといわれる人たちへの告知や理解を十分得られるようにしていきます。
- ・ 今後も仮設住宅を中心に仮設住宅にお住まいの方や、仮設住宅以外でお住まいの方の御相談にも応じて行きたいと思えます。仮設住宅入居者の中には、生活の足（車やバイク）がないため、参加したくても参加できない人もあったものと考察されます。交通事情（車を入手も含む）も改善されているのではないのでしょうか。
- ・ 総合相談会開催の事前告知に問題があったと事を受け、メディア媒体を利用すること以上に、口コミによるPRを真剣に実施を今後もしていきます。チラシも、仮設住宅ごとに配布していきます。配布する際にも、ただ渡すのではなく、石巻市や民生委員・児童委員・消防団の団長・地域の自治会長など地域のオピニオンリーダーといわれる人たちへの告知や理解をしてもらうことに重点をおいて丁寧に渡すことを徹底したいと考察します。

## 8. おわりに

引き続き石巻から東北復興を継続して応援させて頂きたいと思えますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。